

**重要！**

営農計画書の記入の際に参考にしてください。

## 令和2年産主食用米の作付に関する情報

米の国内需要量は年間約10万トンずつ減少しており、令和2年産の栽培面積が今年と同程度なら、作柄によっては、**米の在庫が増え、米価が下落するおそれがあります。**

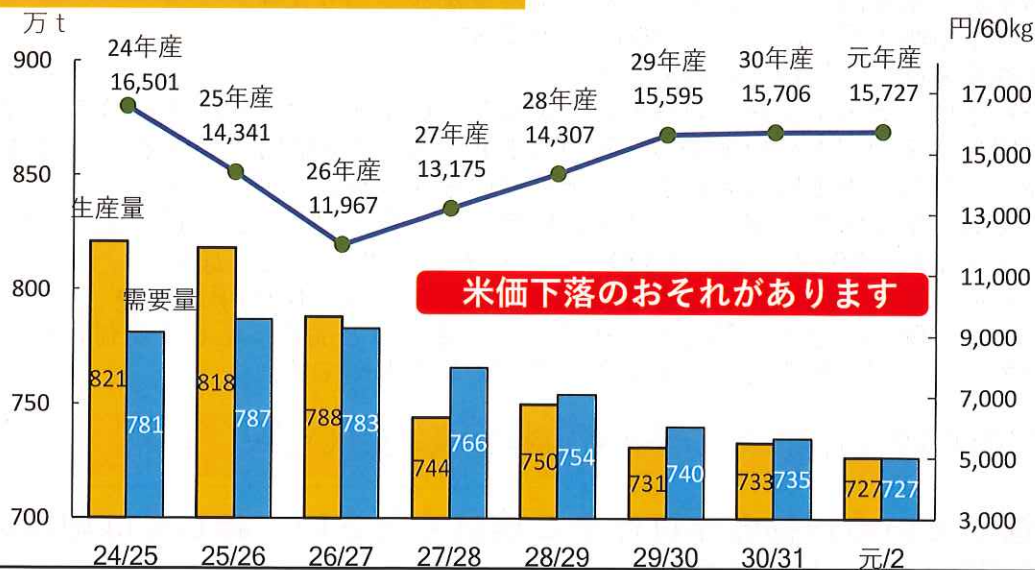
主食用米の米価が下落した時の影響を軽減するため、安定した交付金収入が得られる**戦略作物や地域の産地交付金対象作物等**（裏面参照）を作付けし、経営の安定を図りましょう！！

岡山県全体の令和2年産**主食用米**の生産量の目安は、151,372トン（対前年比98.8%）で、栽培面積に換算すると、28,778haとなり、**約360ha作付けを減らす**必要があります。  
米価の安定のため、生産者一人ひとりが、需要に応じた主食用米の生産に取り組むことが大切です。

### 全国の米の需要量の推移



### 全国の需要量・生産量と米価の関係



（国が提供する米に関する情報）

◎ 米に関するマンスリーレポート（農林水産省） <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

◎ 「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」（農林水産省）

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/beikoku\\_sisin/](https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/beikoku_sisin/)

発行：岡山県農業再生協議会

裏面があります



# ◎主食用米以外の作付けにより収入の安定を図りましょう。

水田フル活用の国の交付金は継続されています。

- ・飼料用米や麦類・大豆等の戦略作物への助成
- ・地域振興作物の産地づくり等への助成（産地交付金）など

主な作物の10アール当たり交付金

（単位：円）

作物	畑作物の直接 支払交付金 （ゲタ対策）	水田活用の直接支払交付金		交付金計
		戦略作物 助成（注2）	産地交付金（注3）	
飼料用米	—	55,000～ 105,000（注1）	12,000（3年以上の複 数年契約の取組）＊ 8,000（上限）（1ha 以上取り組む担い手（注 4））	55,000～ 125,000
米粉用米	—	55,000～ 105,000（注1）	12,000（3年以上の複 数年契約の取組）＊	55,000～ 117,000
WCS用稲	—	80,000	＊	80,000
加工用米	—	20,000	＊	20,000
飼料作物	—	35,000	＊	35,000
小麦	35,786（注5）	35,000	＊	70,786
二条大麦	45,154（注5）	35,000	＊	80,154
大豆	19,198（注5）	35,000	＊	54,198

## 注意!!

交付金の単価や要件等は今後変更になる場合があります。

注1）飼料用米及び米粉用米は、収量に応じて交付単価が変わります。

地域の標準単収の場合は8万円/10aとなります。

注2）戦略作物助成は、基幹作のみ対象です。

注3）産地交付金は、岡山県全体での対象のみ記載しています。3年以上の複数年契約の取組（飼料用米、米粉用米）や1ha以上取り組む担い手（飼料用米）が要件となります。

＊その他、市町村の再生協議会がさらに上乗せ助成する場合があります。

注4）認定農業者、集落営農組織、認定新規就農者、人・農地プランにおける中心経営体

注5）岡山県平年単収：10a当たり小麦320kg、二条大麦333kg、大豆116kg

令和2年産の平均交付単価：小麦6,710円/60kg、二条大麦6,780円/50kg

大豆9,930円/60kgにより試算したものであり、生産量と品質に応じて交付されます。

交付対象者は、認定農業者、集落営農、認定新規就農者です。

◎野菜などの高収益作物や二毛作も御検討ください。

各地域で推進している作物の作付けをご検討ください。詳しくは地域の農業再生協議会にお問い合わせください。

低コスト生産を図り、適期播種（移植）、肥培管理や除草等の基本技術の励行により、単収の向上を図りましょう。

岡山県農業再生協議会では、水田フル活用の推進方針となる「おかやま水田活用方針」を策定しています。経営計画の参考にしてください。 <http://www.o-saisei.net/>